

令和4年第9回加須市教育委員会定例会会議録

招集の日時	令和4年9月26日	午後1時30分
招集の場所	全員協議会室	
開会の日時	令和4年9月26日	午後1時30分
閉会の日時	令和4年9月26日	午後3時30分
出席者の氏名	小野田誠教育長、遠藤康江教育長職務代理者、猪股富美子委員、秋山哲也委員、山本俊一委員、松永修委員	
欠席者の氏名		
会議に出席した者の氏名	齊藤千恵美生涯学習部長、遠井久夫学校教育部長、野本朋子こども局長兼学校教育課部長理事、高貫貢生涯学習部副部長兼教育総務課長、鳥海和彦生涯学習課長兼北川辺郷土資料館長、渡辺伸征文化・学習センター所長兼加須文化・学習センター館長、齋藤一実スポーツ振興課長兼加須市民体育館長、大原真理子図書館課長兼加須図書館長、清水博文学校教育課長兼指導主事、武井由加里学校給食課長兼加須学校給食センター所長、長沼理史こども局参事兼子育て支援課長兼学校教育課参事、関口久美子こども局こども保育課長兼学校教育課主席専門員、齋藤修学校教育課主席専門員、大舩隆弘学校教育課主幹兼指導主事、澁谷裕貴学校教育課主幹兼指導主事、辻本康平学校教育課主幹兼指導主事、岡野信人学校教育課主幹兼指導主事、岡田正道教育総務課主幹	
会期日程	第 1	会議時間の決定
	第 2	会議録署名委員の指名
	第 3	前回会議録等の承認
	第 4	報告第5号 臨時代理の報告について（加須市教育委員会事務局職員 の分限処分について）
	第 5	報告第6号 臨時代理の報告について（辞令の発令について）
	第 6	第34号議案 加須市立小・中学校に在籍する児童・生徒の障害の種類 及び程度の判断について
	第 7	第35号議案 令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の 点検及び評価等について
	第 8	第36号議案 加須市教育委員会の令和5年度当初教職員人事異動の 方針について
	第 9	協議事項 加須市特別支援教育に関する推進計画について
	第10	その他
発言者	会議の概要	
小野田教育長	<p>ただいまから、令和4年第9回加須市教育委員会定例会を開会します。</p> <p>本日の議事日程につきましては、別紙のとおりでございますので、ご了承願います。</p>	

会議時間の短縮を図るため、事務局は各資料の説明について、簡潔明瞭に行ってください。

本日は傍聴希望者はありません。

【日程第1 会議時間の決定】

小野田教育長

日程第1 会議時間の決定についてでございますが、本日の日程がすべて終了するまでとすることよろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

それでは、会議時間は、本日の日程がすべて終了するまでといたします。

【日程第2 会議録署名委員の指名】

小野田教育長

日程第2 会議録署名委員の指名について、今回は松永委員にお願いいたします。

松永委員

はい。

【日程第3 前回会議録等の承認】

小野田教育長

令和4年第8回定例会の会議録については、事前にお配りしてございます。会議録の内容について何かご質疑、ご意見等ございますか。

小野田教育長

ご質疑、ご意見等ないようですので、令和4年第8回定例会の会議録については承認ということよろしいでしょうか。

(異議なしとの声あり)

それでは、承認とします。

小野田教育長

日程第4 報告第5号「臨時代理の報告について（加須市教育委員会事務局職員の分限処分について）」から 日程第6 第34号議案「加須市立小・中学校に在籍する児童・生徒の障害の種類及び程度の判断について」までは、人事案件又は個人情報を含む案件であることから、加須市情報公開条例第7条第1項第2号及び第4号の非公開情報にあたります。

よって、日程第4から日程第6までは、加須市教育委員会会議規則第3条第5項に基づき、会議を非公開とすることよろしいですか。

(よろしい との声あり)

小野田教育長

それでは、これより会議を非公開といたします。

【日程第4 報告第5号「臨時代理の報告について（加須市教育委員会事務局職員の分限処分について）」】

【日程第5 報告第6号「臨時代理の報告について（辞令の発令について）」】

【日程第6 第34号議案 加須市立小・中学校に在籍する児童・生徒の障害の種類及び程度の判断について】

(全員賛成により原案可決)

小野田教育長

これより会議の非公開を解きます。

【日程第7 第35号議案 令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について】

小野田教育長

日程第7 第35号議案「令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について」を議題といたします。事務局より説明させます。

高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長

令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成したいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定により、この案を提出するものごさいます。

8月定例会で、ご協議をいただきました。その中でご意見をいただき、修正させていただきました。

報告書につきましては、法律に基づくもので、教育委員会がその権限に属する事務について、点検評価を行って報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表しなければならないということで、教育委員会の議決後は、9月議会の全員協議会で報告させていただきたいと考えております。

小野田教育長

これより協議を行います。
ご質疑、ご意見等ございますか。

松永委員

この議案がどうということではなく、表現表記の仕方についての提案となります。今回意見が多かったのは、評価の理由の部分です。

こういうことを達成できたことからこう評価したとか、こういうことを達成できなかったことからこう評価したという形で書いて、なお書きで、成果や課題を示していくと、多岐にわたった表現ができると思います。こういう型を作っていくと、多岐にわたっても表現できますし、見た人が理解しやすくなります。

一般市民の方は一つの報告書と見るため、統一して理解しやすくする必要があります。表現の仕方が統一されていると、見た人もどこにポイントがあつて、なお書きで補足できるので、ここの指標にないものもやっているということがわかるので、参考になればと思い付け加えました。

秋山委員

90番の自転車普及推進事業で、自転車競技大会の参加者数が615人の一方で、サイクリング教室の参加者が4名ということで乖離があります。自転車利用の促進につなげるということからすると、交通事故防止のためにも、運転技能を向上させるような教室としてももう少し参加者数が増えるように見直していただければと思います。

小野田教育長

他にございますか。

小野田教育長	<p>それでは、ご質疑、ご意見等ないようですので、採択に移ります。</p> <p>お諮りします。</p> <p>第35号議案「令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等について」は、原案のとおり可決ということによろしいですか。</p> <p>(異議なしとの声あり)</p>
	<p>それでは、原案のとおり可決とします。</p> <p>(全員賛成により原案可決)</p>
	<p>【日程第8 第36号議案 加須市教育委員会の令和5年度当初教職員人事異動の方針について】</p>
小野田教育長	<p>日程第8 第36号議案「加須市教育委員会の令和5年度当初教職員人事異動の方針について」を議題といたします。事務局より説明させます。</p>
遠井学校教育部長	<p>加須市教育委員会の人事異動について、令和5年度当初教職員人事異動の方針を定めたいので、この案を提案するものでございます。</p> <p>埼玉県の方針における新規採用教員の取り扱いについて、これまで「採用後3年から5年以内に異動を行う」でしたが、「3年から6年以内に異動を行う」と変わりました。6年の理由としましては、小学校では6年が卒業までのサイクルの年数であり、中学校では3年サイクルが2回回せるということで、このようなサイクルで人材の育成をするという観点でございます。</p> <p>本市もそれを受けて、3年から6年以内という方針にさせていただきたいと思っております。</p>
小野田教育長	<p>これより協議を行います。</p> <p>ご質疑、ご意見等ございますか。</p>
猪股委員	<p>県の人事異動方針で、1基本方針の(7)女性教職員に関する登用の人事方針、それから(8)障害のある教職員とありますが、加須市では女性の管理職や障害のある教職員の現状はどう進んでいるのでしょうか。</p>
清水学校教育課長兼指導主事	<p>障がいのある教職員は、600人中10人もいないのが現状です。</p> <p>女性の管理職につきましては、30校中、校長先生が7名、教頭先生が8名です。</p>
小野田教育長	<p>30校60人の管理職のうち、15名が女性ということで増えつつあります。</p> <p>県には引き続き女性管理職の配置について要望をしています。</p>
小野田教育長	<p>他にございますか。</p>
小野田教育長	<p>それでは、ご質疑、ご意見等ないようですので、採択に移ります。</p> <p>お諮りします。</p>

第36号議案「加須市教育委員会の令和5年度当初教職員人事異動の方針について」は、原案のとおり可決ということによろしいですか。

(異議なしとの声あり)

それでは、原案のとおり可決とします。

(全員賛成により原案可決)

【日程第9 協議事項 加須市特別支援教育に関する推進計画について】

小野田教育長

日程第9 協議事項「加須市特別支援教育に関する推進計画について」、協議いたします。それでは、事務局から説明させます。

清水学校教育課長兼
指導主事

第5回教育委員会定例会にて協議をいただいたところですが、その時ご意見がございましたので、それをもとに大幅に修正をさせていただきました。

大きく変更させていただいたところは14ページからの方策のところですか。いつまでに何をするという明確な達成の目標を数値化しまして、頑張ることができる範囲のものを16ページまで挙げさせていただきました。

この推進計画は令和7年までのものがございますので、ご意見をいただきまして、次回議案として提出させていただきたいと考えております。

小野田教育長

以上説明がありました。これより協議を行います。

ご質疑、ご意見等ございますか。

松永委員

「はじめに」という部分があり、この推進計画を作成する趣旨、根拠等を示す部分となります。

最初に国の動向が示されていて、その次に本市の動向、次にこれを踏まえた本市教育委員会の動向等、最後にその趣旨が述べられていますが、各段落で書くべきことを整理し、最後に「本市特別支援教育の現状と課題を明らかにし、今後の本市における特別支援教育の施策の方向性を定めるために作成したものです。」とまとめると、何のために作られたものかが分かります。

もう1点、3ページの下に、「通常の学級において指導することが望ましいと判断した場合や、特別支援学級が望ましいと判断されても保護者の同意がない場合は、市就学支援委員会の審議に資料を提出することはありません。」とあります。現状の、2段落目で「小学校95人、中学校18人が令和3年度の市就学支援委員会の判断と異なる学びの場に在籍しています。」ということで、同意を得たものが審議をされているにも関わらず、今の支援委員会の判断と異なる学びの場にいることについて疑問に思うのですが、これはどういうことでしょうか。

清水学校教育課長兼
指導主事

実際に去年の結果と今年の4月1日以降の在籍状況を確認したところ、先ほどの95人という数字が出ていたということがございます。

同意がない場合には審議に資料を提出することはありませんというのは、保護者に一切話していないのではなくて、話して審議はしますが、その結果、特別支援学級、通級という部分考えたところ、4月の段階では、通常学級とか通級指導教室に入ったということです。

松永委員	<p>説明を聞いて理解しましたが、それをわからない人が見るとなぜかなと思うところがあるかと思います。</p> <p>学校の就学相談委員会の判断と異なるということではないということ、わかりました。</p>
猪股委員	<p>「はじめに」において、「幼児・児童・生徒」と幼稚園教育の対象の幼児が書かれています。また、「おわりに」でも幼稚園教育要領という文言が入っています。これは、加須市の特別支援教育感がとても出るもののため、幼稚園教育も含めて考えるべきだと思います。時々、幼稚園のことも書いてありますが、対象となる幼稚園の幼児数については何のデータもありません。包括的に特別支援教育の推進を図る計画を作るのであれば、今後の小中学校の特別支援教育を考える上でとても大事なことなので、幼稚園教育の中での課題を抽出し、データがあればこの中にも入れる必要があると思います。</p> <p>それと、6ページの就学前の巡回相談について、幼稚園は私立と公立があるので入学前の状況の説明をしていただきたいと思います。</p> <p>もう一つ、教育委員会で特別支援教育に関する推進計画というのを出すということですが、こども局のあすなろ園とかでも、療育支援とかいろいろあると思います。こども局では、この特別支援関係の計画はあるのでしょうか。</p> <p>あともう一つ、特別支援教育に欠かせない介助員のことが全く入っていません。加須市は介助員が一生懸命やっていて、介助員がいるから安心して学校行かせられるというお母さんも多いです。加須市は手厚くやっているので、介助員さんの支援のあり方についてもぜひ書いていただきたいと思います。</p>
清水学校教育課長兼指導主事	<p>幼稚園について、なぜ表やグラフにしなかったのかと言いますと、特別支援学級に在籍するお子さんとすることで数が出しやすいところがあります。幼稚園は特別支援学級がないので、具体的にその通常学級にいるお子さんの中で、何人がこの発達障害とか知的とかという判断が難しく、この数を表の中に入れることができなかったというのが現状でございます。</p> <p>介助員も、62人雇用し、確かに支えていただいています。ただ、数を増やすとかなかなか言えないので、あえて外したところでございます。</p>
小野田教育長	<p>現状としては、幼稚園でこういうことをやっていますとか、入れるべきではないかと思いました。</p>
野本こども局長兼学校教育部理事	<p>入園・入学前の子どもに対する支援だけの計画はございません。</p> <p>子ども・子育て支援計画で、幼稚園だけではなく、保育所、また無園児も含め、市全体の子どもたちの支援という中で、その障害だったりとか特別支援だったりというのに関わっていくというスタンスです。</p> <p>公立幼稚園、公立保育所においても、クラスを設けているとか、それだけの保育をやっているというのではなく、園全体の保育の中で、補助員も含めて園全体でやっていますので、どう関わっているとか、どういう支援を行っているというように、事実はこの中に入れられると思います。</p> <p>また、私立の保育所、私立の幼稚園におきましても、入学前の情報を共有して、特別支援に係る訪問指導等も連携しながら行っているところでございます。</p>
猪股委員	<p>特別支援のお子さんたちについては、他のお子さんとは違い、教育と福祉の両輪</p>

でフォローしないと、なかなか難しい問題があるという意味で、これは教育委員会の問題ではありませんが、この特別支援教育に関する推進計画を取りまとめるのであれば、市としても、特別支援の療育支援も、同じレベルで方針をまとめた方がいいのではないかと思います。

特に放課後等デイサービスとか民間のものがいっぱい出てきて、これから特別支援のお子さんやそういうお子さんを持つ保護者の方も増えてくるので、これは教育だけに限ったことではないので、ぜひご検討いただければと思います。

秋山委員

12ページに特別支援学校教諭免許状取得状況がありますが、免許を取得していなくても現場の先生は高い技能で指導していると思います。数字が非常に低いので、保護者の方が見たときに不安にならないかなと思いました。

あと、認定講習受講希望者が小学校22人、中学校3人で、免許状取得は難しいと思いますが、現場で経験されている先生は知識があると思いますので、夏休み期間に、学校ごとに先生方を対象に講習などをしてもよいのではないかと思います。

清水学校教育課長兼
指導主事

教員免許状の取得状況に関しては、残すかどうか悩んだところですが、少なくとも市内30校すべてに免許を持っている教員を配置できるように努力していきたいと考えております。

また、14ページに「指導主事による特別支援教育研修の実施」があります。通常学級にいる支援が必要なお子さんの担任が、まだまだ理解が不足していますので、私たちが出向いて、こういう支援をしていく必要がありますとか、そもそもADHDとはこういうものですかという校内研修を行い、加須市のすべての先生方に理解していただく機会を設けようと考えているところです。

小野田教育長

教員免許状の取得については、公費出張ということで仕事の一環として取得者を増やしていきたいということと、人事異動によって専門家を加須市に招聘したいと思いますので、計画的に進めてください。

遠藤教育長職務代理
者

この計画が立派な資料だけで終わらせることがないように、今後どのように報告するかが決まっていれば教えていただきたいです。

清水学校教育課長兼
指導主事

14ページから16ページまで、いつまでに何パーセントの達成というのを挙げさせていただいています。次回の定例会でこれが議決されれば、令和4年度末までというのも幾つかございますので、できたかできないかというのは、早速報告をさせていただきたいと思っております。

基本的に、教育委員会において年度末に年次報告をいたします。

小野田教育長

それでは、いただいたご意見を踏まえて、事務局の方は修正を加えてください。特に、「はじめに」と「おわりに」は計画の立ち位置がわかる大切な表現なので、特に「おわりに」については、先ほどの評価も踏まえるということで、きちんと文言として残していただければと思います。

幼稚園の表記については、今やっていることを含めて入れるべきだと思います。次回、修正したものを議案という形で提出をお願いします。

【日程第10 その他】

小野田教育長	日程第10 「その他」でございます。諸般の報告をいたします。
小野田教育長	<p>資料はございませんが、加須市教育委員会教育長宛に、安倍元首相の国葬について、反対要望書が寄せられていますので報告をいたします。</p> <p>一つ目は、安倍元首相の弔意強制を行わないことの要望、これについては、池田裕美子市議会議員の紹介で、加須市民有志ということで、8月23日付けでいただきました。</p> <p>二つ目は、安倍元首相の国葬に際し、学校・教職員、児童・生徒に弔意表明を強制しないことを求めますということで、小坂徳蔵市議会議員の紹介のもと、新日本婦人の会加須支部加須平和委員会から、8月26日付けでいただきました。</p> <p>なお、明日27日の国葬の議につきまして、各校には弔意を求めないということで指示をしてございます。</p> <p>以上、私から教育委員に報告をさせていただきます。</p>
小野田教育長	各部長より順次報告をいたします。
斉藤生涯学習部長	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員施設訪問について ・市町村教育委員会研究協議会の研修会について
遠井学校教育部長	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会、体育祭について ・令和4年度開催の研究発表会等における出席予定者について
野本こども局長兼学校教育部理事	<ul style="list-style-type: none"> ・加須市の新型コロナウイルスの状況について
高貫生涯学習部副部長兼教育総務課長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度市長への手紙・メール（教育委員会関連） ・第10回加須市教育委員会定例会の開催予定日変更について
鳥海生涯学習課長兼北川辺郷土資料館長	<ul style="list-style-type: none"> ・「家庭の学びと地域の絆推進事業」に係る講座一覧について ・令和5年加須市二十歳の集いの開催について
渡辺文化・学習センター所長兼加須文化・学習センター館長	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 加須文化・学習センター自主事業の開催について ・加須未来館プラネタリウム優待券付チラシの配布について（市内小中学生対象）
清水学校教育課長兼指導主事	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度埼玉県学力・学習状況調査結果の概要について ・令和4年度 第1回生徒指導に関する調査について（小学校・中学校）
猪股委員	8ページ以降の県の学力学習状況調査の結果の概要ですが、この結果については毎年、各学校の担当教員とか管理職が集まって、その課題の抽出と今後の教育活動の方針であるとか、検証会みたいなものは行うのでしょうか。
清水学校教育課長兼指導主事	この県学力学習状況調査が返ってくる前に、県による分析方法についての研修がありましたので、オンライン上で30校すべての先生方に集まっていただきま

	<p>して、分析方法を学んだところです。</p> <p>あわせて、今回9ページから始まる部分が今年度新たに作ったものでして、各学校で分析していただくとともに、教育課程検討委員会というのがございまして、そちらに持ち寄り、各学校で課題を分析し、取り組みを行っていきます。</p> <p>さらに、加須市全体の分析を行って、どのような取り組みをするかというのを進めていく予定でいます。</p>
猪股委員	<p>この結果を受けた先生方の今後の方向性の資料を、差し支えない程度でお願いできればと思います。</p>
小野田教育長	<p>県学力学習状況調査についてはまだオープンになっていません。これがオープンになった後、教育課程検討委員会を開くのですか。</p>
辻本学校教育課主幹兼指導主事	<p>次回の教育課程検討委員会は10月5日を予定しております。</p>
小野田教育長	<p>この分析にあたり、各校で分析シートを作成していただきましたので、それを持ち寄って中学校で情報共有をして、各校がこういう方向性でどのような取り組みをしていくかは、まとめ次第教育委員会に報告できそうですか。</p>
辻本学校教育課主幹兼指導主事	<p>まとめて報告したいと思います。</p>
小野田教育長	<p>この13ページの学校別に並べたものは、校長会でも配っておりますので、校長先生方は自校が加須市内でどの位置にいるか理解して取り組むということになっております。</p> <p>これは取扱注意で、競争に主眼を置くと方向性が変わるので、自校の課題としてとらえてもらいたいということで配布をしております。</p>
遠藤教育長職務代理者	<p>15ページの「令和4年度第1回生徒指導に関する調査について(加須市)」で、この資料は令和4年7月31日現在となっております。30日以上長期欠席者数で、2学期に入ってから増減はあったのでしょうか。</p> <p>また、「その他」の人数が小学校16人、中学校15人となっておりますが、この「その他」の子どもたちの欠席の理由がわかれば教えてください。</p>
清水学校教育課長兼指導主事	<p>15ページの令和3年度7名ですけれども、年度末の段階では28名となります。1学期の段階で7名ですが21名増えます。16ページの中学校でございしますが、令和3年度65名が年度末には111名となります。小学校28名中学校111名というのが、令和3年度末の不登校児童生徒数となります。夏休み明けから増えているのが現状となります。</p>
澁谷学校教育課主幹兼指導主事	<p>コロナウイルス感染症の関係で出席停止と欠席を合わせて30日を超えた場合や保護者の考え方というところで、登校に結びつかないケースも「その他」に入ります。また、外国人のお子さんは、長期帰国をしているとかそういったものが「その他」に入り、この数となっております。</p>

小野田教育長	<p>病気に当てはまらない、家庭の経済的理由にも当てはまらない、不登校を引き起こすような心理的な状況もない、新型コロナウイルス感染不安でもない、となると、「その他」にしか分類できない子どもたちが増えています。</p> <p>コロナ関係でなくて、引きこもりの児童生徒が増えているなか、コロナ感染に基づいて、ますます拍車がかかっているという状況です。休みやすくなっているということで、全国的な傾向だと思います。</p>
遠藤教育長職務代理者	<p>二十歳の集いの件で、一つの会場で実施する方向でいきますと聞いています。</p> <p>4地域で分散して実施するのがしばらく続いているので、一つの会場で実施するというのが、計画から外れる方向にいつているのかどうかお聞きします。</p>
鳥海生涯学習課長兼北川辺郷土資料館長	<p>名称の変更を基本にして、そのあとにどうやっていくかというのが決まってきました。今は、参加者の健康を第一に考えての苦渋の決断でして、一つの市になったので一つの会場で実施するという方向性は変わりません。</p>
小野田教育長	<p>一つの会場で開催するという方向性は変わりませんので、令和2、3年度については新型コロナウイルス感染症拡大防止対応ということです。</p> <p>二十歳の子が1,000人を下回ったから一つの会場で収まるということで、令和元年度に決定しました。決定した翌年から、急遽コロナ対応に変わったということです。</p>
猪股委員	<p>18ページの「職場体験学習時に収穫した“ねぎ”を給食で提供しました」で、こういう形で一石三鳥ぐらいのいろいろなメリットがあってこれは引き続き続けていただければと思います。子どもたちが住み続ける地域の将来につながるので、地産地消の食材の確保ということも含め、提携先を増やしていただければと思います。</p> <p>この給食の関係で、食材の高騰とか燃料費の高騰で加須市も補助をしてくれていると思いますが、その後の加須市の給食費補助の方向性について教えていただけますでしょうか。</p> <p>あと、15、16ページの生徒指導に関する調査で、例えば保健室やカウンセラーへの相談内容の統計みたいなものがあれば、この生徒指導に関する調査とセットで見せていただきたいと思います。</p>
小野田教育長	<p>1点目については学校給食課長から、2点目については、この17人がどのような関係機関と関わってきたか、資料の形で説明してもらったほうがわかりやすいので、次回、中学校も含めて今年度の児童生徒の関係機関との関わりについてお願いします。</p>
武井学校給食課長兼加須学校給食センター所長	<p>職場体験で収穫したねぎを給食で提供したということで、体験場所となりましたのはアグリファームで、年間を通して地場産のねぎを北川辺給食センター、加須給食センターに納めていただいている業者です。ウム・ヴェルトの系列会社で、いろいろなところで協力をしていただいております、今回新たな取り組みということでこんな形で提案を受けまして、実施したところです。</p> <p>令和3年度の地産地消率は20%で、計画上の目標値を超えているので、今見直しをかけているところですが、農業振興課から情報ももらいまして、一緒に農家さんの方に行ったりしながら、新しいところを開拓しているという状況です。</p>

小野田教育長

安定仕入れ、大量仕入れで、いくつかの農家がないと給食センターとしては受け入れが難しいので、今いろいろと検討してもらっています。

他にございますか。

小野田教育長

以上で、令和4年第9回定例会の議事日程は、終了といたします。
なお、次回、令和4年第10回定例会は10月24日(月)午後1時30分に開会します。
これをもちまして、令和4年第9回加須市教育委員会定例会を閉会といたします。

上記、会議の顛末を記載し相違ないことを証明するため、ここに署名する。

令和4年10月24日

教育長 小野田 誠

委員 松永 修

書記 岡田 正道